

教員が有する学位及び研究業績

1. 氏名・身分・学歴等

氏名	性	学歴	学位・称号	主たる担当科目
及川 浩和（教授）	男	岐阜大学大学院教育学研究科カリキュラム開発専攻修了	教育学修士	数学 情報処理演習

2. 研究業績

(1) 学会賞受賞歴

学術奨励賞受賞（日本教育情報学会，平成 20 年 8 月）

(2) 特許

行動分析装置（実用新案，登録第 3171416 号，平成 23 年 10 月）

(3) 科学研究費助成事業

研究課題：タブレット PC の特性を活かした教育・学習デザイン

研究種目：基盤研究(B)，課題番号：26282051，分担，平成 26 年度～平成 29 年度

(4) 著書

著書名	発行所名	発行年月	単共著の別
医療系情報処理技法	西日本法規出版	平成 16 年 10 月	単著
医療系の情報処理技術	西日本法規出版	平成 17 年 6 月	単著
数学（初版発行）	株式会社フルノラフベスト	平成 22 年 2 月	単著
数学（第 8 版発行）	株式会社フルノラフベスト	平成 28 年 10 月	単著

(5) 論文

論文名	発表機関名（雑誌名）巻号	発表年月	著
中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発	日本教育情報学会第 23 回年会論文集 23.pp156-157,2007	平成 19 年 8 月	共
中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発[I]	日本教育情報学会学会誌，教育情報研究 第 24 巻，第 1 号,Vol.24,No.1,pp3-12,2008	平成 20 年 1 月	共
中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発－実践結果と考察－	日本教育情報学会第 24 回年会論文集 24.pp256-257,2008	平成 20 年 8 月	共
中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発[II]，学習プロセスモデルに基づく授業実践	日本教育情報学会学会誌，教育情報研究 第 25 巻，第 2 号,Vol.25,No.2,pp31-37,2009	平成 21 年 1 月	共
中国人留学生を対象とした e ラーニングを活用した日本語教育に関する学習評価	日本教育情報学会第 25 回年会論文集 25.pp280-281,2009	平成 21 年 8 月	共
中国人留学生を対象とした e ラーニングを活用した日本語教育に関する学習評価（2）誤用の化石化に着目して	日本教育情報学会第 26 回年会論文集 26.pp304-305,2010	平成 22 年 8 月	共

環境意識の涵養を促すものづくり教材の開発	日本教育情報学会第 26 回年会論文集 26,pp290-291,2010	平成 22 年 8 月	共
行動分析装置の開発とその活用	日本教育情報学会第 8 回教育資料研究会論文集,2010	平成 23 年 2 月	共
留学生の聴解ストラテジーを育てるための学習カリキュラム開発	日本教育情報学会第 27 回年会論文集 27,pp286-287,2011	平成 23 年 8 月	共
中学校理科授業におけるタブレット PC 活用場面の効果分析	日本教育情報学会第 28 回年会論文集 28,pp256-257,2012	平成 24 年 8 月	共
タブレット PC を活用した中学校理科授業における評価手法の検討	日本教育情報学会第 28 回年会論文集 28,pp258-259,2012	平成 24 年 8 月	共
留学生を対象に聴解ストラテジーの育成を意図した指導による学習効果の分析	日本教育情報学会第 28 回年会論文集 28,pp314-315,2012	平成 24 年 8 月	共
小学校理科におけるタブレット PC を活用した実証授業の検討	日本教育工学会第 28 回全国大会論文集 28,pp501-502,2012	平成 24 年 9 月	共
小学校理科におけるタブレット PC の学習に及ぼす影響	日本教育工学会研究報告集,JSET12-5,pp147-154,2012	平成 24 年 12 月	共
授業行動分析用装置の開発とその活用	日本教育情報学会誌第 28 巻,第 2 号,Vol.28,No.2,pp37-44,2012	平成 24 年 12 月	共
行動分析装置の教育的利用	日本教育情報学会第 12 回教育資料研究会,pp1-6,2013	平成 25 年 2 月	共
タブレット PC の教育利用に関する検討	日本教育情報学会第 12 回教育資料研究会,pp13-18,2013	平成 25 年 2 月	共
小中学校におけるタブレット PC の学習者の行動に与える影響	日本教育情報学会第 12 回教育資料研究会,pp71-76,2013	平成 25 年 2 月	共
タブレット PC 活用場面における活動データの収集と発話分析	日本教育情報学会第 12 回教育資料研究会,pp77-82,2013	平成 25 年 2 月	共
タブレット PC を活用した中学理科授業における学習者行動のモデル化	日本科学教育学会科教研報 Vol.27,No5,pp7-10,2013	平成 25 年 6 月	共
タブレット PC の活用が学習者の行動及び発話に及ぼす影響に関する研究	日本科学教育学会科教研報 Vol.27,No5,pp11-16,2013	平成 25 年 6 月	共
タブレット PC を習熟度別指導に活用した学習の効果	日本科学教育学会科教研報 Vol.27,No5,pp111-114,2013	平成 25 年 6 月	共
タブレット PC を活用した中学理科授業におけるテキストマイニングによるアンケート分析 2	日本教育工学会第 29 回全国大会論文集 JSET29,pp351-352,2013	平成 25 年 9 月	共
中学校数学においてタブレット PC を選択した生徒の発話	日本教育工学会第 29 回全国大会論文集 JSET29,pp351-352,2013	平成 25 年 9 月	共
留学生を対象とした聴解ストラテジーの育成を意図した指導による学習効果の分析	日本教育情報学会誌教育情報研究,第 29 巻,第 1 号,Vol.29,No.1,pp13-19,2013	平成 25 年 9 月	共
タブレット PC 活用場面における活動データの収集と発話分析	岐阜大学教育学部カリキュラム開発研究紀要,10,Vol.30,No.1,pp30-35,2013	平成 25 年 10 月	共

タブレット PC を活用した中学理科授業における学習者の行動の基礎的分析	岐阜大学教育学部カリキュラム開発研究紀要,10,Vol.30,No.1,pp36-41,2013	平成 25 年 10 月	共
教職員の著作権・個人情報保護に関する意識の変化	日本教育情報学会第 29 回年会論文集 29,pp.234-235,2013	平成 25 年 11 月	共
タブレット PC を媒介とした協働学習を成立させる要件	日本教育情報学会第 29 回年会論文集 29,pp.398-399,2013	平成 25 年 11 月	共
タブレット PC を活用した中学理科授業のテキストマイニングによるアンケート分析 1	日本教育情報学会第 29 回年会論文集 29,pp.400-401,2013	平成 25 年 11 月	共
小中学校における情報モラルの授業の効果	日本教育情報学会第 29 回年会論文集 29,pp.458-459,2013	平成 25 年 11 月	共
タブレット PC の教育利用に関する検討	日本教育情報学会誌教育情報研究,第 29 巻,第 2 号,Vol.29,No.2,pp39-44,2013	平成 26 年 2 月	共
小中学校におけるタブレット PC の学習者の行動に与える影響	日本教育情報学会誌教育情報研究,第 29 巻,第 2 号,Vol.29,No.2,pp45-50,2013	平成 26 年 2 月	共
タブレット PC を活用した中学理科授業の協働性と学びに対する意識	日本教育情報学会第 30 回年会論文集 30,pp.174-175	平成 26 年 8 月	共
授業行動分析装置の開発とその活用(2)	日本教育情報学会第 30 回年会論文集 30,pp.96-97,2014	平成 26 年 8 月	共
ICT 機器を活用し道徳の時間と関連付けた情報モラルの授業の推進	日本教育情報学会第 30 回年会論文集 30,pp.90-91,2014	平成 26 年 8 月	共
中学校数学でタブレット PC を選択した学習者の理解と意識	日本教育工学会第 30 回全国大会論文集 30,pp.675-676	平成 26 年 9 月	共
授業行動分析装置の開発とその活用(3)	日本教育工学会第 30 回全国大会論文集 30,pp.117-118,2014	平成 26 年 9 月	共
タブレット PC の活用・非活用授業の比較	日本教育工学会研究報告集,pp.399-404	平成 27 年 2 月	共
タブレット PC に対する特性認識が学習成果に与える影響	日本教育情報学会学会誌第 31 号第 1 巻 pp33-42,2015	平成 27 年 7 月	共
タブレット PC の持ち帰りによる情報モラルの授業と道徳の時間の連携	日本教育工学会第 31 回全国大会論文集 pp,425-426,2015	平成 27 年 9 月	共
一人1台のタブレット PC が整備された小学校における教育資料の活用	日本教育情報学会第 31 回年会論文集,pp52-55,2015	平成 27 年 8 月	共
高校生と大学生を対象としたモバイル端末の生活・学習利用調査結果の分析 (1)	日本教育情報学会第 31 回年会論文集,pp262-263,2015	平成 27 年 8 月	共
高校生と大学生を対象としたモバイル端末の生活・学習利用調査結果の分析 (2)	日本教育情報学会第 31 回年会論文集,pp300-301,2015	平成 27 年 8 月	共
同一教材を用いて異なるデバイスを活用した学習者の意識	日本教育情報学会第 32 回年会論文集,pp284-285,2016	平成 28 年 8 月	共

テクノロジーの活用を意味づける「豊かな学びのデザインマップ」の開発	日本教育情報学会第 32 回年会論文集,pp302-303,2016	平成 28 年 8 月	共
深い学びの過程における情報検索の効果に関する基礎研究	日本教育情報学会第 32 回年会論文集,pp310-311,2016	平成 28 年 8 月	共
特別の教科道徳で情報モラルに関する題材を扱う場合の課題と対策	日本教育情報学会第 32 回年会論文集,pp314-315,2016	平成 28 年 8 月	共
中学校特別な教科道徳で情報モラルに関する題材を扱う際の課題	日本教育工学会第 32 回全国大会講演論文集,pp193-194,2016	平成 28 年 9 月	共
ICT を活用した豊かな学びをデザインできる教師への働きかけ	日本教育情報学会第 33 回年会論文集, 第 33 号, p32-35	平成 29 年 8 月	共
テクノロジーの活用を意味づける「豊かな学びのデザインマップ」の開発Ⅱ	日本教育情報学会第 33 回年会論文集, 第 33 号, p36-39	平成 29 年 8 月	共
ドローンを用いた地域資料の教材化	日本教育情報学会第 33 回年会論文集, 第 33 号, p144-147	平成 29 年 8 月	共
教員養成系大学の学生のプログラミング教育に対する意識	日本科学教育情報学会年会論文要旨集 41, p40	平成 29 年 8 月	共
小学校教員をめざす学生のプログラミング教育に関する意識	日本教育工学会第 33 回全国大会論文集, JSET33, p.781-782	平成 29 年 9 月	共
仮説の過程で ICT を活用した小学校理科の探求学習	日本教育工学会第 33 回全国大会論文集, JSET33, p.953-954	平成 29 年 9 月	共

(6) 学会発表等

論 文 名	発表学会等の名称	開催場所 (年月)
中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発－実践結果と考察－	日本教育情報学会第 24 回年会	大妻女子大学 (平成 20 年 8 月)
中国人留学生を対象とした e ラーニングを活用した日本語教育に関する学習評価	日本教育情報学会第 25 回年会	立命館大学 (平成 21 年 8 月)
中国人留学生を対象とした e ラーニングを活用した日本語教育に関する学習評価 (2) 誤用の化石化に着目して	日本教育情報学会第 26 回年会	岐阜女子大学 (平成 22 年 8 月)
留学生の聴解ストラテジーを育てるための学習カリキュラム開発	日本教育情報学会第 27 回年会	十文字学園女子大学 (平成 23 年 8 月)
留学生を対象に聴解ストラテジーの育成を意図した指導による学習効果の分析	日本教育情報学会第 28 回年会	聖徳大学 (平成 24 年 8 月)
行動分析装置の教育的利用	日本教育情報学会第 12 回教育資料研究会	岐阜大学サテライトキャンパス (平成 25 年 2 月)
タブレット PC を活用した中学理科授業における学習者行動のモデル化	日本科学教育学会研究会	岐阜大学 (平成 25 年 6 月)
タブレット PC を活用した中学理科授業におけるテキストマイニングによるアンケート分析 2	日本教育工学会第 29 回全国大会	秋田大学 (平成 25 年 9 月)

タブレット PC を活用した中学理科授業のテキストマイニングによるアンケート分析 1	日本教育情報学会第 29 回年会	沖縄女子短期大学 (平成 26 年 11 月)
タブレット PC を活用した授業における学習者の学びの意識	日本教育情報学会第 30 回年会	京都市立芸術大学 (平成 26 年 8 月)
高校生と大学生を対象としたモバイル端末の生活・学習利用調査結果の分析 (2)	日本教育情報学会第 31 回年会	茨城大学 (平成 27 年 8 月)
同一教材を用いて異なるデバイスを活用した学習者の意識	日本教育情報学会第 32 回年会	福山平成大学 (平成 28 年 8 月)
ICT を活用した授業づくりのための「豊かな学びのデザインマップ」の導入	日本教育情報学会第 33 回年会	芦屋大学 (平成 29 年 8 月)

3. その他の業績 (研究業績以外の多様な業績)

○教育方法の実践例

- (1) 体験学習における CS 評価—実証試験路における四輪駆動車走行体験会を通じた分析 2010— (平成 22 年 12 月)
- (2) 体験学習における CS 評価—実証試験路における四輪駆動車走行体験会を通じた分析 2011— (平成 23 年 12 月)
- (3) 体験学習における CS 評価—実証試験路における四輪駆動車走行体験会を通じた分析 2012— (平成 24 年 12 月)
- (4) 体験学習における CS 評価—実証試験路における四輪駆動車走行体験会を通じた分析 2013— (平成 25 年 12 月)
- (5) 体験学習における CS 評価—実証試験路における四輪駆動車走行体験会を通じた分析 2014— (平成 26 年 12 月)
- (6) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (関市倉知北交差点)」 (平成 23 年 12 月)
- (7) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (関市平和通 7 交差点)」 (平成 24 年 12 月)
- (8) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (鶴沼交差点)」 (平成 25 年 12 月)
- (9) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (鶴沼 I.C. 交差点)」 (平成 26 年 12 月)
工学教育研究室 第 2 位受賞
- (10) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (鶴沼東交差点)」 (平成 27 年 12 月)
- (11) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (鶴沼 IC 交差点)」 (平成 28 年 12 月)
工学教育研究室 第 2 位受賞
- (12) 学生による地域課題解決提案事業「特定交差点の事故要因に関する研究 (鶴沼交差点)」 (平成 29 年 12 月)
工学教育研究室 第 1 位受賞

4. 社会活動

日本教育情報学会 評議員
岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センタープロジェクト研究員